

石川県立小松明峰高校吹奏楽部第35回定期演奏会における
新型コロナウイルス感染症対策について

1.日々の部活動時の対策

- ・ 練習中は各生徒間に飛沫防止シートを設置する。
- ・ 練習中の換気と練習後の使用教室の消毒を実施する。
- ・ 密集を避けるため、音楽室での合奏練習を行わない（昨年3月から1年以上継続）。

2.定期演奏会における感染症対策

- ・ 小松市公会堂総座席数1078席のところ、着席可能席を435席に制限し、使用できない座席を設け、「使用不可」の張り紙を張ることで、座席と座席の間にソーシャルディスタンスを確保する。
- ・ 会場入り口にサーマルカメラを設置し、検温、消毒を実施するほか、接触を避けるため受付係は全員手袋を着用したうえで、チケットもぎりは行わない。
- ・ 万が一の事態に備えて観客全員の連絡先を控える。また、演奏者として参加する本校吹奏楽部の生徒については全員保護者の方による参加承諾書を提出している。
- ・ 演奏者と演奏者の間に飛沫防止シートを設置し、更に舞台と客席の間にも飛沫防止シートを設置。
- ・ 演奏会中も会場入口を開放し、換気に努める。
- ・ 演奏中の管楽器演奏者を除き、全員がマスクを常時着用する。
- ・ 会場の使用するすべての部屋に消毒液を設置し、1公演ごとに客席やドアノブ等大勢が手を触れる部分の消毒を実施する。